



経営開始イメージ【単身経営】



中古ハウス継承

注	下記のイメージは本市における経営開始時の収支イメージになります。必ずしもこのような経営になる事を保証するものではありません。また、当イメージは、施設取得にかかる費用を国の補助金を活用したと想定し作成しています。従って、補助金の交付を受けられる事を確約するものではありません。当イメージは養液栽培(隔離)による栽培方法を採用した際のものであり、本市での夏秋トマト栽培は養液栽培(隔離)に限るものではありません。
---	--

①経営(農業所得)

区分		単位		備考
栽培面積			20a	
労働力	家族従事者	人	1	1人あたり労働時間を2,000時間として人数を算出 一人10aから15aが目安 不足分は臨時雇用で賄う
	家族労働時間	時間	2,000	
	雇用者労働時間	時間	646	
	労働時間計(※1参照)	時間	2,646	
夏秋トマト売上額		円	9,240,000	14t/10a当 330円/kg
副産物収入等		円	920,000	夏秋トマト 市場出荷以外の産直出荷等
経費	種苗費	円	900,000	苗代
	肥料費	円	480,000	肥料、葉面散布剤等
	農薬衛生費	円	276,000	農薬代
	農具費	円	100,000	農具
	動力光熱費	円	170,000	業務用電気料、車両・農機具燃料
	その他生産資材費	円	728,000	交配用蜂、ビニール、防草シート、コンテナ、雑費材等
	減価償却費(※2参照)	円	357,143	中古ハウス【養液栽培(隔離)※3参照】
	修繕費(※2参照)	円	25,000	
	雇人費	円	775,200	雇用労賃(1,200円×646時間)
	地代・賃貸料	円	90,000	10a当たり3万円
	利子割引料	円	15,000	
	農業共済・保険料	円	94,000	施設共済等
	荷造運賃手数料	円	2,722,000	選果料、出荷資材費、運賃、市場・農協販売手数料
	水利費・土地改良費	円	2,000	
	租税公課	円	196,000	
	その他	円	2,000	部会運営費
費用合計		円	6,932,343	
農業所得		円	3,227,657	夏秋トマト売上額+副産物収入-費用合計

②生活(生活費支出)

区分	単位	金額	備考
食費	円	30,000	
住居	円	40,000	家賃
光熱・水道	円	13,000	電気代、ガス代、上下水道料等
家具・家事用品	円	5,000	家具、家事雑貨等
被服及び履物	円	5,000	衣類、履物等
保健医療	円	6,000	医薬品、保健医療サービス等
交通・通信	円	22,000	ガソリン代、自動車維持費、通信費等
市県民税	円	5,500	均等割1名分 ※所得に応じて加算
国民年金	円	17,500	17,510円/月
国民健康保険	円	12,800	所得割+均等割(1名)+平等割 (152,960円/年)
生活費支出合計(単月)		円	156,800
生活費支出合計(年間)		円	1,881,600 消費支出合計(単月)×12ヶ月

③収支残額(①-②)

①農業所得 3,227,657円	—	②生活費支出 1,881,600円	=	③収支残額 1,346,057円
---------------------	---	----------------------	---	---------------------

※1 労働時間計

区分	人	労働時間	備考
家族(本人含む)	1	2,000	1人あたり労働時間を2,000時間として人数を算出 ※雇用は1,800時間
雇用	1	646	

※2 主要機械・装備(減価償却費等基礎)

区分	単位	台数・規模	単価	取得価格	耐用年数	年償却額	修繕費
ハウス一式取得及び修繕	棟	6	10,000,000	2,500,000 (3/4補助)	7	357,143	25,000
合計	-	-	-	2,500,000	-	357,143	25,000

補助事業活用により導入(取得価格を補助率3/4として算定)

修繕費は、取得価格の1%(施設)、3%(機械類)とする

※3 養液栽培(隔離)とは

土から隔離した栽培方法であり、昔ながらの土耕栽培に比べると初期投資がかかるが土壌病害のリスクが減り、安定した収量が望めます。



上記以外にも昔ながらの土耕栽培や養液土耕栽培などがあります。
他の栽培方法についてはお問い合わせください。